

川下りで賑わっていたところにタイムスリップ

# 川港コース 周遊40分

**Route**  
平岡駅—天然記念物観音様の大榎—インクライン—鎮魂碑—名勝榎淵—浜背負の道—平岡駅

## 名勝榎淵

名勝榎淵のあるところは満島港のあったところ。満島港は通船荷の集散地であり、多くの人や荷物が運ばれた。舟が満島に近づくと船頭が舟端を叩く。この合図が響き渡ると浜背負(はましよい)が船着場に集まってきた。米・味噌・酒・醤油など、中には30貫も背負う女たちもあり、坂上段の間屋まで背負い上げた。大正3年(1914)東久邇宮殿下が榎淵に上陸した記念碑が建つ。



昭和初年の榎淵 浜背負が活躍した

## 鎮魂碑

かつて天龍中学校校庭に捕虜収容所があり、その脇に鎮魂碑が建立された。碑面に「恒久の世界平和を祈って 鎮魂」と書かれている。



昭和25年頃

## インクライン

平岡の発電所を建設する際、滑車で荷物を運搬した道。



昔のメイン道路コース

# 史跡満島番所コース 周遊30分

**Route**  
平岡駅—史跡満島番所跡南遠山家—天然記念物観音様の大榎—史跡満島番所跡長野遠山家—平岡駅

## 天然記念物観音様の大榎(おおかや)

太さ目通り4.24m高さ22m樹齢700年以上。遠山家初代祖先土佐守より分家してこの地に在住するが、大榎があったのでここに観音様を建立し、遠山家代々の守りとして信仰した。その当時より観音様の大榎として崇めている。

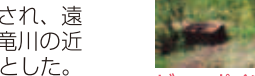


スタート ゴール 平岡駅・龍泉閣

## 史跡満島番所跡

満島番所は、遠山土佐守時代の元和元年(1615)に開設され、遠州掛塚まで運ばれる諸木荷物を改めたところ。当時は天竜川の近くにあったがその後、番人であった南遠山家の居宅を番所とした。

## 南遠山家



中世の歴史をイメージしながら歩くコース

# 史跡満島城址コース 周遊2~3時間

**Route**  
平岡駅—史跡満島番所跡南遠山家—天然記念物観音様の大榎—史跡満島番所跡長野遠山家—矢当地—弓場—史跡満島城址—満島神社—名勝十方峡入口—平岡駅

## ★名勝十方峡



## 名勝十方峡(じゅっぽうきょう)

大正13年(1924)、画家荒木十畝(あらかきじゅっぽ、池上秀畝(いけがみしゅうほ)ほか、写生旅行で天竜下りをする。一行は満島の田村旅館で一泊した。後に荒木は再び満島を訪れ遠山川と天竜川の合流点の奇勝を探り、ここを「十方峡」と名づけた。

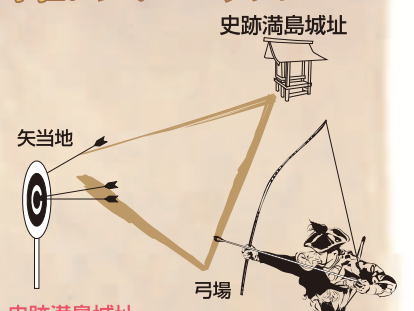
荒木十畝一行 大正末頃

## 史跡満島城址



史跡満島城址 昭和5年

## 中世にタイムスリップ



**史跡満島城址**  
城址は細長い平地。南北32間、東西8間ないし17間。城址周囲の地には弓場、御陵(ごりょう)、矢当地、榎屋(ねんや)、的場(まつば)ほか上城(うへじょう)、下城(したじょう)と呼ばれる家もある。



## 村民俗文化財 満島神社秋祭り

満島神社は北東の端に位置する通称「原の森」にある。南西の端、通称「南の森」に前宮がある。明治時代に村の神社を合祀した。秋祭りは「満島神社のお練り」として豊作・悪霊払い祈願の祭りであり、神輿に乗ったご神体が原と南の宮の間、片道約3キロを2日間にわたり渡御する。祭りは10月中旬の土・日曜日